

令和7年5月吉日

各 位

(公社) 静岡県茶業会議所
会頭 上川 陽子

「これからの静岡茶」について「農水省」を招いての意見交換会

拝啓 若草の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、弊会の事業につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年は、4月18日に新茶初取引、いよいよ新茶シーズン到来です。しかし、ここ数年、本県が主力とする一番茶を中心としたリーフ茶の需要減少が進んでいます。

この影響は、茶価の低迷や良質茶を生産する中山間地域の茶園の荒廃に繋がっています。

一方で、抹茶の原料となる碾茶については、輸出を中心に今までにない需要の盛り上がりがあります。しかし、本県においては、需要に対して生産量が追いつかない現状があり、あらためて茶生産者の重要性を感じています。

こうしたことから、最重要課題であります茶生産者の生産意欲を掻き立てる環境整備と、後継者を育成していくための課題解決を早急に進めていかなければなりません。

つきましては、農林水産省の担当者を招いて、県、JA、市、町関係者と共に茶生産者と持続可能な静岡茶の今後について意見交換会を下記の通り開催する運びとなりました。

何かとご多忙のことと存じますが、ご参加のご意向を賜りたく存じます。

敬具

記

- 1 開催日時 令和7年6月7日(土) 10:00～12:00
- 2 場 所 静岡茶市場2階大会議室
- 3 内容(予定)・新たな茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針(農水省)
 - ・輸出生産拠点支援「拠点化計画」(静岡県)
 - ・各市の茶業振興の取組について(静岡市、掛川市(予定))
 - ・海外における日本茶需要について(静岡銀行)
 - ・生産現場の現状 茶工場(茶生産者)
- 4 出席者
国(農水省)、県(お茶振興課)、市町、経済連、JA、静岡茶市場、茶業会議所、NPO法人茶と人フロンティア会議、静岡銀行、お茶生産者 他
- 5 ◆お手数をお掛け致しますが、5月30日(金)までに、QRコードを読み取り出席の有無をご回答願います。

QRコード →



●お問合せ先 静岡県茶業会議所

伊藤、長藤、坂井

TEL:054-271-5271 FAX:054-252-0331

shizucha@mail.wbs.ne.jp